

3 事業2年目の成果と課題

(1)本事業による生活リズムに関する児童・生徒の変容	
○ 成果 ・ 朝、気持ちよく起床できるようにと、就寝時刻に気をつける児童が増えてきた。 ・ 就寝時刻が遅くなる原因を理解することにより、テレビの視聴時間を減らそうとする意識が芽生えてきた。	● 課題 ・ テレビ視聴の在り方を改善していこうとする意識や態度がまだ身についていない。 ・ スポーツ少年団や塾等が就寝時刻を遅らせている場合の改善の方向性を見つけることが困難である。
(2)「子どもの生活リズム向上」に関する保護者や教職員の意識や取り組みの変容	
○ 成果 ・ 保護者が生活リズム強化週間以外にも意識した生活をするようになった。 ・ 生活リズム三大作戦を行うことで基本的な生活習慣の大切さを保護者や教職員にも意識づけることができ、家庭でも取り組みやすくなった。	● 課題 ・ 児童の生活習慣を変えるためには、保護者の生活リズムを変えていくことも必要であり、今後とも学校・家庭・地域が一体となった取組が必要である。
(3)「子ども生活リズム向上」に関する全保護者や地域住民への普及・啓発について	
○ 成果 ・ 本校の学校保健委員会や学校保健研究大会等を通して、生活リズムに関するアンケートの結果を公開することで、実態について共通理解を図ることができた。	● 課題 ・ 家庭によって取組に差が生じているので、取組まれていない家庭に対してどのように啓発していくか考える必要がある。
(4)その他事業全般	
○ 成果 ・ 取組後のアンケート調査等で現状分析ができ、そのことにより今後の課題が見出せた。	● 課題 ・ 家庭により取組に差が生じている。取組まれていない家庭への啓発について考えていく必要がある。
(5)事業3年次(平成22年度)に重点的に取り組みたい内容	
○ 生活リズム三大作戦の改善と充実化 ○ 学習会・啓発活動・・・地区懇談会の充実、PTA運営委員会での啓発、食育講演会 ○ 体験型イベント・・・夏休みラジオ体操、ふれあい参観日における親子登下校、川小鍋 ○ 家庭における継続活動・・・生活リズム三大作戦(ファミリー運動、みそ汁+1、スイッチの)	